**広島大学大学院リサーチフェローシップ 応募書類**

**（量子分野 2022年4月支援開始分(第1回)）**

**１．申請者情報等**

**申請年月日 2021年 月 日**

|  |  |
| --- | --- |
| 博士課程後期における研究課題名 |  |
| （フリガナ）申請者氏名 |  |
| 学生番号 | ※広島大学に在学中の方は現在の学生番号を記載してください。 |
| 博士課程後期で在籍する（予定の）研究科/プログラム |  |
| 博士課程後期　入学（進学）（予定）年月日 | 　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| 生年月日 | 　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| E-mailアドレス |  |
| 電話番号 |  |
| 学歴 （学部・修士） | 1.　　　年　月:　　　 大学　 　学部 　学科 卒2.　　　年　月:　　　 大学 大学院 研究科専攻 博士課程前期 入学3.　　　年　月:　　　 同 修了（見込） |
| 日本学術振興会特別研究員-DC1もしくはDC2の2022年度採用分への応募状況 | 選択してください |
| 日本への入国状況（申請時点） | 選択してください |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 現在の指導教員 | （フリガナ） 氏　　　名 |  | 職名 |  |
| 所属機関 |  |
| 部局/プログラム |  |
| 連絡先（E-mail） |  |
| 博士課程後期　入学（進学）後の指導（予定）教員 | （フリガナ） 氏　　　名 |  | 職名 |  |
| 研究科/プログラム |  |
| 連絡先（E-mail） |  |
| リサーチフェローシップ申請についての指導（予定）教員の了承 | 了承を得たら「○」を選択してください |

*※ 職歴があって，募集要項「2.応募資格」（２）における社会人学生に該当するか不明の場合は，応募前に必ず問い合わせてください。なお職歴には短期のアルバイトや大学でのティーチングアシスタント等は含みません。*

*※ 募集要項「2.応募資格」（３）における年齢が30歳以上となる場合は、臨床研修を課された医学系分野への在籍履歴、又は出産・育児等ライフイベントの状況を記載した書類を別添で提出してください。*

**２．【研究計画】**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。

**(1) 研究の位置づけ**

リサーチフェローとして取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

なお、本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*※文字サイズ１１ポイント以上を用いて記載してください。*

**【研究計画】（続き）**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください

**(2) 研究目的・内容等**

　① リサーチフェローとして取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、

 具体的に記入してください。

なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**3．【研究遂行力の自己分析】**

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1)** **研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）*

*著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）*

*著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

**(2)** **今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

**4．【目指す研究者像等】**

　「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」は、将来の我が国の科学技術・イノベーション創出を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けてリサーチフェローの採用期間中に行う研究活動の位置づけ」、(3) 「目指す研究者像を踏まえて現時点で目指している博士課程後期修了後のキャリアプラン」を記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(1)目指す研究者像** ※目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入してください。

**(2)上記の「目指す研究者像」に向けて、リサーチフェローの採用期間中に行う研究活動の位置づけ**

**(3)上記の「目指す研究者像」を踏まえて、現時点で目指している博士学位取得後のキャリアプラン**